

【継続】農山漁村地域持続的発展活動支援事業費

概要

- 地域資源を活用した付加価値創出の取組みを支援し、農山漁村の持続的な発展を支える
- 芽出しの取組みに必要な試験・試作費のソフト費用の補助に加えて、簡易な機器導入に要する経費を補助
- 事業プランの策定～事業実施～実施後の取組みまで、県の関係機関等が連携してフォローアップ

国地方創生関連交付金活用事業

予算額(当初):7,265千円

事業期間:令和元年度～

背景/課題

背景・課題

- 高齢化、働く場の減少等による若者の流出
⇒ 担い手の減少、集落機能の低下、働く場の不足 など

豊かな地域資源

- 地域の特産物、景観、観光資源、森林、地域のつながり等、多様で豊富な資源や財産が存在

これまでの取組み

- 女性や若者等による、多様で豊富な資源を活かした新たなチャレンジによって付加価値や雇用を生み出す地域内起業を支援(スモールビジネス創出支援事業)
⇒ 農林漁業者による6次産業化の取組みは着実に拡大

課題

- 担い手の減少と集落機能の低下は一層深刻化
- 6次産業化以外にも多様な地域活性化の手法が存在
- 新たな取組みの着実な実施には機器導入も不可欠 など

農山漁村の地域資源を活用するニーズを踏まえ、多様なアイデアを地域活性化に結び付ける芽出しの取組みを幅広く支援することが必要

事業目標

・地域資源を活用した新たな取組みの支援件数:15件(令和2年度)

事業内容

1 農林漁業者等による地域活性化の取組みの芽出しを促進 【補助額6,042千円】

農山漁村の持続的な発展を支える農林漁業者等の付加価値創出の取組みを、県(農業技術普及課や食品加工支援チーム)の支援活動を連動させながらオーダーメイド型で補助

■内容

(1)事業検討型

地域資源を活用した付加価値創出の取組みに向けた検討費用を補助

- ①6次産業化の取組:農産加工品や料理の試作、体験メニューの開発等
- ②農林水産物生産の取組:伝承作物等の生産試行
- ③その他の取組:再エネ活用等の取組みの試行

(2)機器等導入展開型

(1)の取組みに加え、最低限必要な機器等の導入に要する経費を補助

■実施主体

地域資源を活用した付加価値創出に取り組むグループ・団体
※②農林水産物生産の取組は、農林漁業者及び農林漁業者等で構成するグループ・団体

■補助率

- ※(1)事業検討の取組みは2か年での事業実施も可
- (1)事業検討費 2/3(事業費上限300千円(補助金額上限200千円))
- (2)機器等導入費 1/2(事業費上限1,700千円(補助金額上限850千円))

下支え

2 県によるフォローアップ活動

○取組みのブラッシュアップを図るため、専門家による相談会や事業の実現に必要なノウハウの提供、マネジメント能力の向上支援等を実施(農業技術普及課・食品加工支援チーム等)

事業スキーム

事業プランの相談
(実施主体) ⇄ (県)

事業実施計画の策定
(実施主体)

取りまとめ(市町村→県)

〔事業検討型〕

〔機器等導入展開型〕

審査会の開催(県)

機器導入活用計画策定

補助金交付

審査会の開催(県)

事業実施(実施主体)

補助金交付

事業実施(実施主体)

取組みのフォローアップ

問い合わせ先

■担当課:農政企画課 企画担当

■電話:023-630-3315